

平成 24 年度文化財保護事業報告

1. 委員会・・・「清須市文化財保護条例」(平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号)
「清須市文化財保護規則」(平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号)に基づいて設置。
文化財保護審議会 年一回開催 平成 25 年 3 月 27 日
2. 文化財保護・・・時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

(1)文化財の指定 清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 32 件。
【清須市内指定文化財等一覧】(資料 3)

(2)埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地広く分布している。埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施等に対応している。

平成 24 年度 有無照会：1 件、発掘届出 74 件、発掘通知：8 件
確認調査：2 件、本発掘調査：4 件 (3 月 1 日現在)

本発掘調査

- ・清洲内堀地区 (店舗開発に伴う調査)
- ・一場弓町 (給食センター建設に伴う調査)
- ・一場御園、弓町 (取付道路整備に伴う調査)
- ・清洲上中畦、一場神明前 (病院及び道路整備に伴う調査)

【清須市内の遺跡一覧】(資料 3)

3. 啓発活動・・・生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産 (埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等) の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

(1)歴史資料展示室における資料の公開

清須市立図書館整備に伴い、清須市歴史資料展示室として市の歴史と文化を紹介する展示施設が整備された。清須市の歴史を概観できる常設コーナーとより深いテーマ性をもつ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てる、わかりやすい展示をめざす。

①特別展「きよすのお宝大集合」

期 日 平成 24 年 7 月 7 日（土）～9 月 2 日（日）
 展示内容 清須市立図書館の開館を記念し、市指定の文化財を清須市の所蔵品から民間所蔵の文化財を一同に会した状況で展示を行い、清須市の歴史・文化について広く市民に紹介する展示を開催した。

入館者数 9,455 名

②企画展「旅に出る」

会 期 平成 24 年 9 月 19 日（水）～1 月 27 日（木）
 展示内容 市所蔵資料から、近世から昭和までの旅にまつわる文献・民具資料を展示し、時代によって変遷する庶民の旅について広く市民に紹介する機会を設けた。

入館者数 6,016 名

③重要文化財指定記念展サテライト展示

「朝日遺跡のはじまり」

会 期 平成 25 年 2 月 9 日（土）～5 月 19 日（日）
 展示内容 県貝殻山貝塚資料館で開催する県の重文記念展のサテライト展示を開催する。県教委より学術的に貴重な貝殻山貝塚地点の調査資料を中心に借用し、朝日遺跡のはじまりともいえる貝殻山貝塚の重要性とともに朝日遺跡の姿を紹介する。

* 関連事業として、重要文化財指定記念講演会ときよす歴史スタンプラリーを開催。

(2)文化財講座・講演会

・文化財講座

会 場 清洲市民センター

定 員 40 名 受講者数 延べ 204 名

回	月／日	内 容	講 師（敬称略）
1	5 月 24 日	江戸時代の街道交通と美濃路清洲宿 ～清洲ゆかりの柏原藩織田家の参勤交代～	一宮市尾西歴史民俗資料館 宮川 充史
2	6 月 28 日	地震の「ゆれ」を覚えていた清須市の地層	県埋蔵文化財センター 鬼頭 剛
3	7 月 19 日	五条川流域の中世城館	大口町歴史民俗資料館 西松 賢一郎
4	8 月 13 日	尾張国分寺跡	稲沢市教育委員会 北條 献示
5	9 月 13 日	清洲城下町遺跡の発掘 ～近年の成果から～	県埋蔵文化財センター 鈴木 正貴

・文化財講演会

①「清須越の名古屋商人～伊藤次郎左衛門家を中心に～」

講 師 林 董一氏（愛知学院大学名誉教授）

期 日 平成 25 年 1 月 26 日（金）

開催場所 にしびさわやかプラザ研修室

入場者数 約 45 名

内 容 江戸時代、名古屋城下では名古屋城の築城にともない清須から名古屋へ移転した「清須越の商人」たちが活躍していた。松坂屋の創業家伊藤次郎左衛門家を中心に清須越の商人の活躍について講演を行った。

②重要文化財指定記念講演会

「朝日遺跡の調査と価値」 加藤安信氏（元埋蔵文化財調査センター長）

「貝殻山貝塚から朝日遺跡へー40年前の思い出ー」

柴垣勇夫氏（愛知淑徳大学教授）

期 日 平成 25 年 3 月 23 日（土）

開催場所 清洲市民センター 201 集会室

定 員 65 名

内 容 県主管の朝日遺跡重要文化財記念展と関連して開催するサテライト展示「朝日遺跡のはじまり」に関連して、調査を担った講師が初期の朝日遺跡発掘調査やその価値に関する講演を行った。

(3)文化財関係刊行物の販売

生涯学習課と西枇杷島問屋記念館にて刊行物の販売を行なっている。

【文化財関係刊行物一覧】（資料 3）

(4)歴史文化振興事業

平成 19 年度に新川町事業終了後、資料返却や資料調査を継続して行っている。併せて清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を行っている。

4. 施設管理・運営・・・各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

(1)西枇杷島問屋記念館

名 称 清須市西枇杷島問屋記念館

所在地 清須市西枇杷島町西六軒 20

面 積 敷地面積 1,391.55 m² 延床面積 151.62 m²

主 屋 98.82 m² 離 れ 52.80 m²

構 造 木造 2 階建

開 館 平成 5 年 4 月

概 要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる九左衛門家の住居を、平成 4(1992)年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。

開館日数 305 日（60 日休館）

入場者数 4,421 名（3 月 1 日現在）

①冊子販売 第一集から第十一集（第六集を除く）を販売

②展示の充実を図る。

(2)新川民具資料室 収蔵品の整理を行う

5. 指定文化財補助・・・市指定文化財に対して、修理・管理・公開について補助する。

(1)修理費補助 有形民俗文化財（山車） 4件

(2)管理費補助 ①有形文化財
②有形民俗文化財（山車）
③天然記念物 計11件

(3)公開費補助 ①有形民俗文化財（山車）5件

②有形文化財 7件

計12件（尾張西枇杷島まつり5件、きよすのお宝大集合展7件）

(4)文化財関連団体

西枇杷島町山車保存会

目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。

役員 会長 後藤昌治 副会長・会計他

会員等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杣西町の町内会会員

主事業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他